

企業景況調査報告書

(令和2年1～3月期)

< 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要	1
質問2 直面している経営上の問題点	2
質問3 採用状況について	3
質問4 意見等自由記載欄	4
DI集計結果・分布	5
調査票様式	6

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2020年1～3月）

調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100社

（建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業22社、サービス業21社、その他6社）

調査方法

各事業所を職員が訪問し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。

調査時期

令和2年4月上旬

回収状況

95社（回収率95%） ※前回（10～12月）95社

（建設業21社、製造業18社、卸売業9社、小売業22社、サービス業20社、その他5社）

今期の状況は全業種で下降傾向、来期は更に下降する見通し

＜今期の状況＞（5ページ表参照）

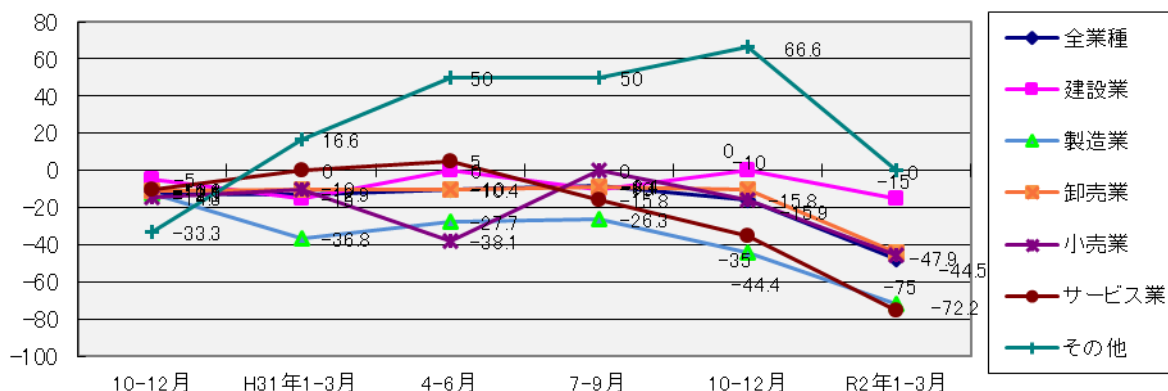
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲15.9から下降し、▲47.9となった。業種別に見ると、それぞれ建設業は▲15.0（前期0.0）、製造業は▲72.2（前期▲44.4）、卸売業は▲44.5（前期▲10.0）、小売業は▲45.4（前期▲15.8）、サービス業は▲75.0（前期▲35.0）、その他の業種は0.0（前期66.6）と全業種で下降している。

＜来期の見通し＞（5ページ表参照）

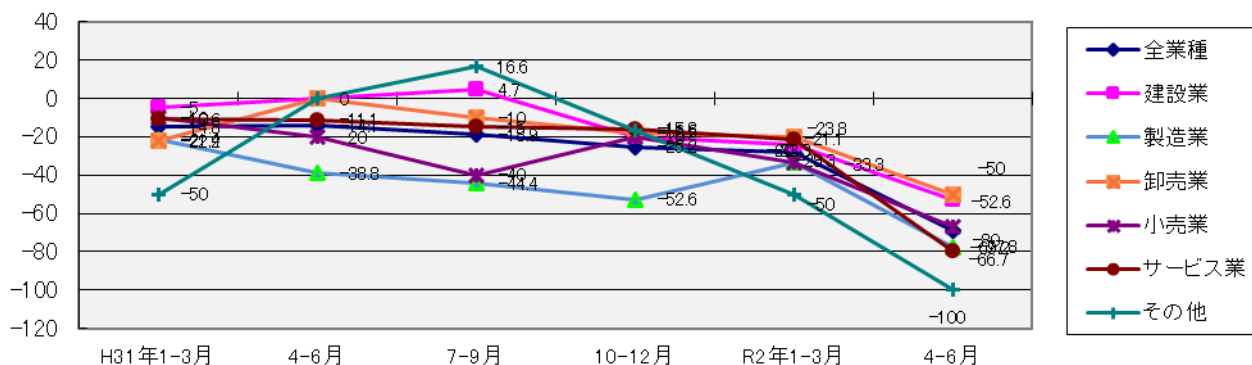
来期の見通し(2020年4～6月)では、全業種のDI値は前期の▲28.3から下降し、▲69.2となった。業種別に見ると建設業は▲52.6（前期▲23.8）、製造業は▲77.8（前期▲33.3）卸売業は▲50.0（前期▲20.0）、小売業は▲66.7（前期▲33.3）、サービス業は▲80.0（前期▲21.1）、その他の業種は▲100.0（前期▲50.0）と全業種で下降する見通しとなった。全体的に今期・来期ともに大きく下降しており、全業種で来期の数値が今期の数値を下回っている。また、直面している経営上の問題点として全業種が「売上・受注減少」を挙げており、新型コロナウイルスの影響の大きさが窺える結果となった。

＜業況判断DIの推移＞ ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

(1) 今期の状況 ＜業種別＞



(2) 来期の見通し＜業種別＞



質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

前期に引き続き「売上・受注減少」と回答する事業所が多い結果となったが、その事業所数は大幅に増加している。また、「その他」として新型コロナウイルス関連の問題が多く挙げられた。

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	売上・受注減少 (64)	消費・需要の停滞 (38)	競争激化 (30)
	前 期	売上・受注減少 (39)	消費・需要の停滞 (35)	経費の増加 (32)
建設業	当 期	競争激化 (8) 売上・受注減少 (8) 人手不足 (8)	利益率低下 (7)	原材料・仕入価格上昇 (6) 経費の増加 (6)
	前 期	人手不足 (10)	経費の増加 (9)	売上・受注減少 (8) 利益率低下 (8)
製造業	当 期	売上・受注減少 (16)	経費の増加 (9)	消費・需要の停滞 (6)
	前 期	売上・受注減少 (11)	経費の増加 (9)	競争激化 (5) 店舗・生産設備不足・老朽化 (5)
卸売業	当 期	売上・受注減少 (7)	競争激化 (5) 消費・需要の停滞 (5)	売上・受注単価低下 (2) 原材料・仕入価格上昇 (2)
	前 期	競争激化 (6)	消費・需要の停滞 (5) 売上・受注減少 (5)	原材料・仕入価格上昇 (3) 利益率低下 (3)
小売業	当 期	消費・需要の停滞 (13)	売上・受注減少 (12)	競争激化 (7)
	前 期	消費・需要の停滞 (13)	競争激化 (5) 売上・受注減少 (5) 人手不足 (5)	資金繰り難 (4)
サービス業	当 期	売上・受注減少 (15)	競争激化 (6) 消費・需要の停滞 (6) その他 (6)	経費の増加 (5)
	前 期	消費・需要の停滞 (9)	売上・受注減少 (8)	競争激化 (6) 利益率低下 (6)
その他	当 期	売上・受注減少 (5)	消費・需要の停滞 (3)	経費の増加 (2)
	前 期	原材料・仕入価格上昇 (3) 経費の増加 (3)	競争激化 (2) 店舗・生産設備不足・老朽化 (2) 人手不足 (2) 利益率低下 (2)	消費・需要の停滞 (1) 売上・受注減少 (1) 売上・受注単価低下 (1) 原材料・在庫不足 (1)

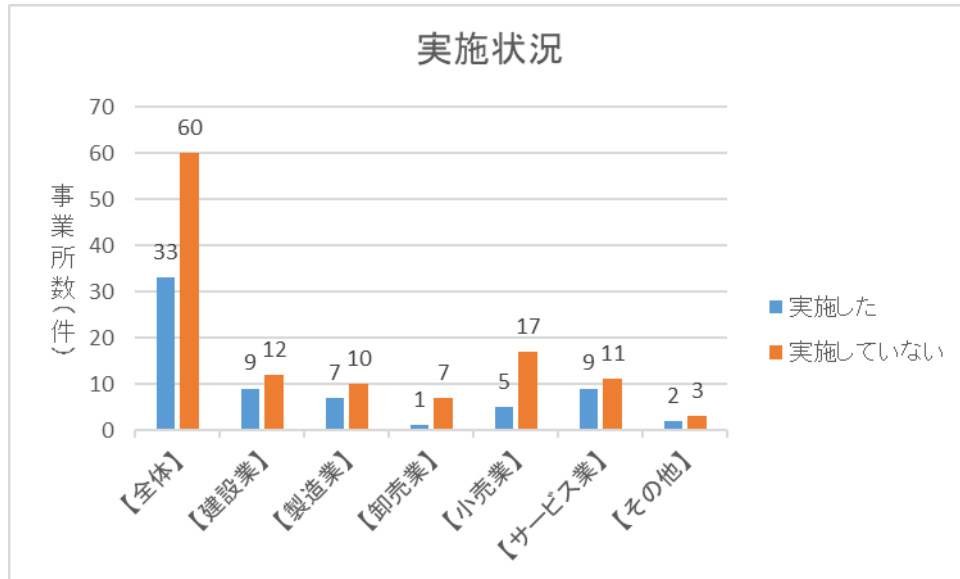
17 その他

- ・新型コロナ問題
- ・住宅設備部品の仕入困難
- ・熟練技術者の不足

質問3 令和2年4月における採用状況について

実施した事業所は全体の約3割

近年、企業にとっては人手不足が大きな課題となっている。今年は新型コロナウイルスの影響によって就職活動が十分に行われないなど、企業だけでなく学生にとっても大きな問題となっている。それに関連して、令和2年4月における採用活動の実施状況について調査を行った。その結果、「実施した」という回答が33件、「実施していない」という回答が60件であった。業種別の結果については以下に示す通りとなった。



実施した事業所の内約7割が採用できたと回答（計画した人数には満たなかった事業所も含む）

「実施した」と回答した事業所には、計画通りの人数が採用できたかどうか併せて調査を行った。その結果、「計画した人数通りに採用できた」という回答が15件、「採用できたが、計画した人数には満たなかった」という回答が9件、「採用できなかった」という回答が9件であった。業種別の結果については以下に示す通りとなった。

(事業所数 (件))

	計画した人数通りに採用できた	採用できたが、計画した人数には満たなかった	採用できなかった
建設業	4	3	2
製造業	5	1	1
卸売業	1	0	0
小売業	0	4	1
サービス業	4	1	4
その他	1	0	1

また、採用した人材が新卒か中途か、及びその人数についても調査を行った結果、新卒が計31名、中途が計18名であった。新卒を採用できた事業所からは、「計画した人数通りに採用できた」という回答が多い傾向にあり、平均で2名、多いところでは6名採用したところもあった。一方で、中途の採用人数は1~2名で、「採用できたが、計画した人数には満たなかった」という回答が多かった。

質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

【建設業】

- ・新型コロナウイルスによる税制対策（法人税緩和措置等）。
- ・景気減衰に伴う仕事量の減少（特に公共工事）。新型コロナウイルスの影響が春先以降に特に顕著に現れ大不況になると感じている。特に中小企業の我々は政治問題位までになるのではないか。県、市に対しても、限られた予算の中でも景気浮上策で抜本的なものを優先して考えてほしい。特に建設業に従事する人の割合が多いので、他業種に与える影響が大きいと考える。
- ・新型コロナウイルスの影響で民間の建築工事が減少するのでは。
- ・新型コロナウイルス蔓延による受注の減少、住宅設備の仕入が困難になり完成が遅れたり、仕事が出来なくなったことへの不安があります。
- ・仕事量が少ない。
- ・公共工事が全くない。

【製造業】

- ・新型コロナウイルスの影響で売上が大幅減。
- ・新型コロナウイルスの影響により、マスク、エタノール等手に入りにくいです。
- ・新型コロナウイルスによる売上減少に関する運転資金、助成が必要。
- ・新型コロナウイルス感染拡大による消費需要減少（当社の場合は土産物 OEM が多い）。簡易、早急な資金助成。

【卸売業】

- ・新型コロナウイルスにより観光関係、宿泊業等が大きな痛手です。それに伴い発注が減少。
- ・メーカー出荷調整のため、入荷が少ない。

【小売業】

- ・これから徐々に影響がでてきそうなので、新型コロナウイルス対策支援のいろいろな案内（金融等）もよろしくお願いします。
- ・景況感は悪化していると思われる。
- ・弊社は新型コロナウイルスに関してあまり売上減少にはなっていないが、これから大きな影響がでてくるかもしれない。
- ・新型コロナウイルス流行のため、客数・売上等減少。見通しがつかない。消費・資金・人手すべて不安。
- ・人形部門は好調だが、それ以外のところ、特に花輪の受注減少。駄菓子、イベント用品等、イベントの中止に伴うキャンセル、受注減少。

【サービス業】

- ・新型コロナウイルスの収束が見えないため、観光客誘致は大変厳しいが、人・食・芸術等で中部が盛り上がる計画が欲しいです。
- ・新型コロナウイルスで夜のお客様激減で売上悪化。大変です。早く収束してほしい。売上減の補助金等の対策必要。
- ・多少の景気の変動であるならば、当社にとって悪くないと考えています。しかし、今起きている事態は普通ではないので、緊急な対策として各個人への現金給付十万円程度、中期長期的には消費税減税が必要と考えます。財源は世界各国と同じく赤字国債発行と、中央銀行による国債買い入れでできると思います。日銀の国債買い入れをしなかった場合、また円高不況が来て財政が悪化して、当社の業界は仕事が減ることになると思います。
- ・新型コロナウイルスの早期収束が望まれる。
- ・新型コロナウイルスの影響がどこまでくるのか心配。
- ・新型コロナウイルスの影響で飲食人口激減です。我々のようなサービス業関連個人事業主に対する支援をお願いしたいです。
- ・新型コロナウイルスの為、宿泊キャンセルが多い。今後の営業について不安を抱くことが多くある。
- ・新型コロナウイルスの影響の為、なかなか先のことが見えない状態です。

【その他】

- ・新型コロナウイルスに伴う大幅な売上減。先が見えない不安。事業継続が可能となる施策を早期に対応願いたい。

DI集計(前年同期比=2020年1~3月期、来期の見通し=2020年4~6月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-56.4	-71.7	-11.9	-25.5	-47.9	-67.4
製造業	-66.7	-82.4	6.2	-6.2	-61.1	-72.2
非製造業	-54.0	-69.3	-15.8	-29.7	-44.8	-66.2

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-25.5	-39.7	0.0	-4.3	-5.4	-20.2
製造業	-38.8	-55.6	-5.5	-5.5	11.7	-12.5
非製造業	-22.3	-36.0	1.3	-4.1	-9.3	-22.0

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-47.9	-69.2
製造業	-72.2	-77.8
非製造業	-42.1	-67.1

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-56.4	-71.7	-11.9	-25.5	-47.9	-67.4
建設業	-25.0	-57.1	10.0	-9.5	-30.0	-65.0
製造業	-66.7	-82.4	6.2	-6.2	-61.1	-72.2
卸売業	-88.9	-75.0	0.0	25.0	-44.5	-50.0
小売業	-59.1	-66.7	-36.4	-38.1	-40.9	-61.9
サービス業	-75.0	-75.0	-40.0	-57.9	-70.0	-70.0
その他	0.0	-100.0	40.0	-60.0	-20.0	-100.0
非製造業	-54.0	-69.3	-15.8	-29.7	-44.8	-66.2

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-25.5	-39.7	0.0	-4.3	-5.4	-20.2
建設業	10.0	-19.0	25.0	9.5	-19.1	-19.0
製造業	-38.8	-55.6	-5.5	-5.5	11.7	-12.5
卸売業	0.0	0.0	11.1	12.5	-12.5	-37.5
小売業	-36.4	-38.1	-22.8	-23.8	-9.5	-10.5
サービス業	-50.0	-55.0	0.0	-5.0	5.0	-30.0
その他	-20.0	-80.0	0.0	0.0	-20.0	-20.0
非製造業	-22.3	-36.0	1.3	-4.1	-9.3	-22.0

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-47.9	-69.2
建設業	-15.0	-52.6
製造業	-72.2	-77.8
卸売業	-44.5	-50.0
小売業	-45.4	-66.7
サービス業	-75.0	-80.0
その他	0.0	-100.0
非製造業	-42.1	-67.1

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

事業所名: _____ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊞

倉吉商工会議所企業景況調査票(2020年1~3月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2020年1~3月)の状況と、今期と比較した来期(2020年4~6月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 01 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 02 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 03 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 04 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 06 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 07 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他: 具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰 | () |

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問3】人手不足が続くなか、採用活動に力を入れている事業所もあるかと思えます。それに関連して以下の質問にご回答ください。

1. 貴社の令和2年4月における採用活動の実施状況について

① () 実施した / ② () 実施していない

2. 採用状況について(1で採用活動を「実施した」と回答した方)

【採用人数】 ・新卒 () 人 ・中途 () 人

① () 計画した人数通りに採用できた / ② () 採用できたが、計画した人数には満たなかった

③ () 採用できなかった

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。